

問9の「40年間の公共施設のあり方について、ご意見をお伺いします。」に対して寄せられたご意見をまとめました。

※ 誤字・脱字など多少の修正をし、極力ご意見の原文をそのまま掲載しています。

目 次

1	ひとつの施設ジャンルを取り上げた意見	1
	地区センター・集会所	1
	スポーツ施設	2
	病院	3
	図書館	5
	公園・広場	5
	保健・福祉施設	6
	博物館・記念館	6
	文化ホール	7
	生涯学習施設	7
	教育施設	8
	観光・保養施設	8
	幼児・児童施設	8
	市役所・総合支所	9
	インフラ	9
2	複数の施設ジャンルを取り上げた意見	10
3	この取組み全般に対する姿勢やビジョンへの提案・意見	12
4	この取組み全般へのビジョンの提案に具体例を付した意見	20
5	各施策や対策に対する意見	26
	総合的な政策	26
	交通	27
	市の組織・職員	28
	使用料や減免制度の見直し	28
	施設の有効活用	29
	施設の統廃合や複合化	31
	民間活力の導入	34
	サービスの提供	35
	施設の維持管理	36
	施設の運営	37
	子育てのための施設の活用	38
	その他のさまざまな意見	38

1 ひとつの施設ジャンルを取り上げた意見

【地区センター・集会所】

- 地区センターは中学校単位に集約。旧役場・総合支所内に地区センターを置く。その施設を運営したい団体がいない施設は廃止。
- 集会所ですが、地区ごとに設置されています（距離がそれほど離れていない）。利用状況についても年にして数える程度ではないか…。あればなにかの時に役立つとありますが（反対とかの意見ではありません）、人口減少し維持管理の面からも減らすことも必要ではないでしょうか。すぐ近くに新しく作る必要もなく、お互いに利用したほうが良いと思われまます。
- 地区センターをご利用しているサークルは、大半が高齢者。50代の私にとっては地区センターを利用しないと思う。高齢者の方々が使わなくなった後、地区センターを使う人はかなり減ると思う。
- 地区センターは全地区が同様の規模の施設を有する必要はなく、地区の人口規模等により見直したほうが良い。例えば地区人口が1万人規模、千人規模、数百人規模では施設規模が異なってよい。
- 現在は使用する回数は少なくなっているが、地区センター・集会所は身近にあるので利用している。できれば市内にあるものはそのまま維持してほしい。
- 地区センターの利について、利用人数が少数でも利用を許可してほしい。活動したくても人数が減りやむなく休止するグループもあり残念に思います。
- 合併後は地区センター・集会所が最も身近にあり、これだけはなんとか維持していく必要がある。災害発生時の避難場所としても必須の場所なので公共施設として守っていただきたい。
- 退職後、公共施設を利用することが多くなりました。地区センターは地区の人たちの集いの場として活用されていることが多いようです。各地域が発展することで市全体が発展していくと思われまます。（80代老夫婦）
- 公園・広場に地区センターを建設する。
- 地区センター・集会所は一部の人しか利用していない。震災の時はほとんど機能していなかった。
- 地区センターがあるのだから集会所は不要。特例で残すのではなく地区センターのみでやるべき。
- 地域みんなの協力は大切。地区センターや集会所は必要。40年後にあわててアンケートを取るの

はなく先を見通しての計画を。

- 地区センターは地元が必要。ただ、地区ごとに使用料やサービスがバラバラでなく統一したもので。
- 年齢的に地区センターに行く機会がない。こんな状態が40年間あり続けるのは絶対不可能。
- スポーツ等の集会所には指導者がいてもよいのではないか。地区センターに行けるように。

【スポーツ施設】

- スポーツ関係はZアリーナにまとめた方がよい。
- スポーツセンター 多くのものを一か所にまとめる ◎Zアリーナ ◎さくらつつみ バスの利用を図る。
- クリーンパークは絶対今までどおり残してほしい。
- 前沢パーク場の隣の金網で囲っているちびっこ広場の草刈を年4～5回草刈を行っているが使用されていない。無駄なことばかりしている市はどう思っているのか？
- クリーンパークは高齢者が多くなっていくので必要です。子供たちもプールを使用したいし。
- Zアリーナの場所。経費をかけていても多くの人の利用を考えれば不適切。民間管理へ。(車がなければ利用無理)
- 前沢のプール。6レーンある立派なプールですから周知が必要だと思います。
- 健康寿命を延ばすためにもジムなどのスポーツ施設の充実を望みます。
- ある程度民間が管理できると思うが、スポーツ施設は行政が管理していかなければならないのでは。
- スポーツ施設は最小限の料金設定ではないと思う。個人による共同利用に対応した料金設定など利用を促進する工夫も必要である。
- Zアリーナを岩手県に寄付したほうがよい。5市町村が合併しても施設が減っていない。
- スポーツ施設は充実させてほしい。運営方法は見直す必要がある。

●地域の活性化を目指す地域ほどスポーツに力を入れたがる理由がわからない。地区運動会などでは人を集めるのに苦勞をしている。広報を見ても、この地域はスポーツがらみのイベントが多いと感じる。これだけ催して人が集まっているのか？ 本当に求められているのか？ 企画したことで振興対策したと満足しているのではないか？ 民間にあふれているスポーツ施設、さらに公共では必要ない。学校体育館を供用すべき。

●36 ホールのパークゴルフ場をお願いします。

●スポーツ施設に異動してきた職員が施設の事務を覚える気がない。腰掛態度ありありです。民間に運営してもらいたい。記念館も同じです。

●水沢公園テニスの料金徴収と電気料金について明確にするべき。可能であれば駐車場にしてほしい。

【病院】

●病院、特に産婦人科の充実を行ってほしい。これからの人（子・孫）のために、安心して子供を産める環境をお願いしたい。

●病院は一部ネットで診察できるようにしても良いのではないのでしょうか。医師不足もあるので外部の医師に委託し、高齢者などネット環境がない方々には専用の場所を作ることで人が集まることで孤立をなくす。

●水沢病院、まごころ病院、江刺病院の見直しが厚生省で考えているようですが、老人の多い今日、病院の見直しはだめです。

●一般も診てもらえる地元の県立病院は絶対に必要です。

●市の財政が厳しい状況を踏まえ、市立病院建設はやめたほうが良い。維持・管理、将来的に負担。民間、県に任せたいほうが良い。

●水沢病院は人間関係がスッキリしないので、協力し合っていける個人に貸し出して、シェアして行くことを考えたほうが良い。資金の少ない若い医者をここに定着させられるのではないのでしょうか。

●市立病院は通院等の観点から今後も継続していただきたいです。

●まごころ病院 必ず残してください。お願いします。

- 赤字の水沢病院を廃止し、人件費を削れば40年間もつ。このままでは経営破綻が目に見えている中で、新病院建設などあり得ない。
- 水沢病院と胆沢病院はふたつとも公共機関で同じ地区内にある。同地区には個人病院も比較的多い。人口減少が進み税金も減り経済的に維持するのは困難となる。苦しい選択だが早急に手を打つべき。
- 市立病院の統廃合が必要。医師を一か所に集める。
- 病院に産科を設けることはできませんか？ 娘は市内の病院が満杯で北上まで検診に通い出産を予定しています。少子化問題といっても、生まれる段階で不便・不安では解決になりません。
- 病院建設はどうなったのか？ 医師の採用意欲が感じられない。産科・小児科がなくて住みよい街になるのか？ 若者が寄らない。
- 水沢病院を早く作ってください。
- 市内に小児科がなく入院できなく困っています。
- 奥州市の財力で病院経営は無理である。
- 病院を充実させるのが先だと思う。産科も小児科もない病院は総合病院ではない。子育てする街ではないという人もいる。子供を安心して産めないまちは最低。
- 病院建設は大学からの派遣が確約できなければ建物を作っても無駄になるばかりである。
- 病院には力を入れてほしい。
- 子育て支援と言いながら、小児科病院がない。未来を見据えた施設が欲しい。
- 病院を増やす（心療内科）
- 水沢病院と県立江刺病院を統合したほうが良い。
- 高齢人口が多くなり、税金の使い方もいろいろと考えなければならない。そのためにも公共施設のあり方は考えていかなければ。まずは医者をも！ 病院をも！ 一番に考えてほしい
- 個人医院が多数あるので共倒れ状態だと思います。山間部にとっては施設が多数あっても恩恵が少なくて、恩恵を感じるのは地区で催しがあればこそです。病院でもあれば薬をもらうだけでも待つこと

なく帰宅できます。

【図書館】

- 図書館は外部に委託しないでほしいです。地域の歴史などの史料が捨てられるケースが多かったり、利益主義に走るのは心苦しいです。
- 図書館は駅の中に必要である。場所が悪い。
- 図書館が各センターに必要ない。
- 図書館は維持してほしいです。子供にとっても良いところだからです。
- 図書館はこれからの高齢化に伴い必要だと思います。体が動かなくとも本は読みます。年金暮らしでお金がなくとも本が読める図書館はなくしてはなりません。特に胆沢図書館は中学校の近くで中学生が本に触れる場になっています。

【公園・広場】

- ふれあいの丘公園への交通不便、設置場所が悪い。
- 公園や広場は民間に委託したほうが新しい使い方やアイデアで活用が広がっていくこともあると思います。都会から戻ってきたのですが、都市の公園はすごく人が集まって活気があります。良いところを取り入れてほしいです。
- 公園や広場が身近にあっても、ほとんど利用されず草が生い茂っている。本当に必要なのだろうかと思っています。
- 特に公園・広場の整備をお願いしたいです。
- 公園が多い。使っている人はそんなにいない。
- 市の職員のボランティアによる、公園・広場の清掃。
- 住宅地の近くに公園を増やしてほしい。道路で遊ぶ小学生が危険です。
- 利用頻度の少ない施設の廃止については、地域性を十分に考慮する必要がある。小公園は町内会等の

地域のボランティア管理を原則にしてもよい。除草剤の配布、大木の枝切りには話し合いにより補助が必要。

●公園は作るだけで、後の維持管理がほとんどされていません。もっと美化に財源を充てるべきだと思います。必要以上のハコモノは売却・廃止で構わないと思います。

【保健・福祉施設】

●高齢者施設、リハビリセンターがもっと近い場所にあればもっと利用して楽しい生活ができると思います。家にばかりいますので老後の楽しみが少ないです。

●福祉施設を充実させる。一人暮らし老人ばかりでなく老人がいる家庭も含めて全体の老人に声掛けをする。日々の様子をチェックし、面会することで家族も安心する。

●有料シルバーハウス

●福祉・保育施設と職員の維持は必須だと感じます。災害時の避難場所となる施設は、例え今後民間に委託したとしても確保していただきたい。

【博物館・記念館】

●将来、“大谷翔平記念館”の新たな建設を考えているなら反対します。既存の施設内にコーナーを設けるなどに留めてほしいです。

●博物館や記念館は生活に密着していませんし、維持費も大きいと思います。廃止してよいと考えます。

●博物館・記念館は、市内一つにまとめるか、旧区ごとに一つにまとめる。

●記念館は分散させず、ひとつにまとめていく方向ではどうか。公共施設も民間に任せることで、多くのアイデアが得られるような気がする。

●耐震や保存が必要になってくる博物館や記念館は、在りし日の姿を映像で残すなどして、一か所に集約できるのではと思います。

●博物館・記念館を集約・規模拡大し、他市町村からの来客を誘発する。

- 文化、博物館、記念館の利用が少ない。もっと自主企画を楽しめるよう工夫してほしい
- 水沢三偉人の記念館を統合し、併せて博物館を新設する。
- 偉人の顕彰の必要はわかりますが1人に一記念館は多い気がします。入館者も見受けられず維持費ばかり増え続けるのではないのでしょうか。3館をひとつにする方向で検討してみてもいいのでしょうか。
- 偉人館が多すぎるので統合するべきだと思う。一関博物館のような感じで良いのではないかな。
- 博物館・記念館が活かされていない。観光名所に作り替えるべき。
- 博物館を効率的に回れるよう案内やバスを。
- 博物館がなく大切な文化が見えない。過去の歴史を学ぶことが大切と思う。民間の資金協力を必要と思う。
- 施設の意義は重要ではあるがあまりにも利用者が少ないという観点から博物館・記念館は過剰と感じる。

【文化ホール】

- Zホールに良く行きますがロビーに威圧感を感じます。奥行きがないのに大きなソファ。それにどっかり座って入り口を見ながら世間話をしているのでしょうか。大ホールの前を開放して自由に、また喫茶店も増設してはいかがでしょうか。
- 文化ホールの統合をすすめる。
- 文化ホールが各地区にあるのは疑問だ。
- 人口が減り利用者も減っていくから財源も大変でしょうが、文化施設を利用したくても遠いとかお金が高いとかなると文化の香りがあせてしまうので補助等して平等に心の洗濯ができるようにしたい。

【生涯学習施設】

- 江刺の生涯学習センターを月2回利用しています。偶然、当施設があり市民が利用できることを知りました。隣の部屋を民生児童委員の会議で使っていましたが、全く知りませんでしたので、使用できるこ

とを広く広報したほうが良いと思います。もったいないです。

- 俳句の庵は従来どおり活用させてほしい。

【教育施設】

- 学校は統合してもいいと思います。

●旧小学校の今後の利用等について、広く利用者希望の募集を全国にPRする。例えば大学の研究室、職人の仕事場。

●小中学校の空き部屋、空き時間及び土日を利用して地区センターが担っている分野を小中学校で行い、開かれた学校及び先生の負担を地区センター職員にも分けて地域の中心として学校を活用したら良いと思う。

●統廃合後の学校跡地や建物の利用がうまくいっていない。これを介護関係の利用にしたほうが良いと思う。

- 学校のプール施設は、総合して民間にまかせるべきと考えます。無駄が多すぎます。(用務員談)

【観光・保養施設】

- 衣川荘や温泉など民間に委託してはどうか。

●観光・保養施設は、民間に渡すか受け手がいなければ廃止して良いと思う。利用したとか、行ったことがあるとか聞いたことがない。

- 宿泊施設は、すべて民間に移行運営するべきと考えます。

【幼児・児童施設】

- 特に幼児・児童施設の民間移譲は市の将来性を悪くする。

●定員に満たない保育所の統廃合も必要ですが、大部屋に大人数入れる保育は望みません。

- 岩谷堂幼稚園の園児数を知りびっくりしました。たった10数名なのに閉園もしなかったのか？ 他の

保育園とかは合併しているのに…。場所も悪いし私立の施設がいっぱいあるので廃止してほうが良い。無駄なことをどんどんなくして他市町村なども参考に、新しく変わらないとだめだと思う。多くの若者の声を聴くこと。

【市役所・総合支所】

●総合支所を廃止し、職員数を大幅に削減する。市議会議員の定数も削減すると共に議場、委員会室等々をなくして会議室で行えばいい。総合支所に空きスペースを作り、貸事務所でもやってみたらいい。

【インフラ】

●公共施設への投資よりライフラインの維持（上下水道の値上げ抑制等）に努めてほしい。

●道路管理が遅れている。

2 複数の施設ジャンルを取り上げた意見

- 市民病院は民間で良い。水沢公園の整備が以前よりなされていない。
- スポーツ施設 → 水沢大町偉人館の前、記念館 → 水沢大町偉人館の前、地区センター → 元水道事業所。
- 文化ホールが多すぎる。Zホール一つだけで良い。地区センターは機能していない。無理に事業を増やしているように見える
- 人口減少しても地区センター、病院は絶対必要です。少なくなると交通関係等もますます不便になります。
- 衣川の保養施設は地元の人しか使っていない。水沢の文化会館は駐車場もないのに無理して使っている。少子高齢化により、使用頻度もさらに少なくなると思う。
- 役所の庁舎が過剰に多い。スポーツ施設も使用されずにいるように思います。最小限にとどめて、維持・管理費をムダにしないようにしたほうが良い。
- 病院、老人・福祉施設をしっかりしてほしい。
- 博物館・記念館、観光・保養施設など民間が運営すると楽しい、魅力のある施設ができるかも。公園・広場、幼児・児童施設等、子どもたちのものはなくさないでほしい。
- 生活するうえで不可欠な病院等は維持するべきと考える。また、健康維持や心にゆとりを持つ施設は必要です。
- 一時期地域ごとにできた文化ホールでしたが、今となっては必ずしも身近になくはならないとも思えなくなり、まして老朽化して、維持管理にもお金がかかるとなれば見直ししてもやむを得ないと思います。しかし、病院や保健・福祉施設等については、ますます少子高齢化が進むと思われるので必要になると思います。免許を返納する高齢者には近くにないと困ると思います。
- 記念館は入場者数も少なく、高野長英記念館は、いくら郷土の偉人でも展示が難しすぎてわからない。水沢公園にある高野長英記念館に各所にある記念館をまとめて「偉人館」としても良いのではないか。ただし、後藤新平の生家と斎藤実記念館はそのままで良いと思う。水沢病院が建替え必要なのであれば、市内にたくさん病院があるのでいらないと思う。公園の遊具は使われていない。老人の筋力を鍛える設備を備え体力づくりをしながら交流できるのではないか。

●とりあえず病院（特に入院できる小児科、産婦人科）はしっかり残してほしいです。集会所はあまり必要性が高くないと思うので民間でも管理できるのではないのでしょうか。文化ホールは唯一昔から市民が絶対使える場所だと思うので残してほしいです。

●文化ホールは市で1か所で良いと考える。市病院は一つにまとめて規模を大きく、総合性を高める。できれば市病院は全廃止。

●学校、幼稚園、他の統合によりますます過疎地域は孤立する感じがします。地域にある集会所は絶対的に必要だと思います。地域の連携を保つためにも大事なことだと思います。

●水沢病院の累積赤字は現在60億を超えたのではないのでしょうか？ 病院を新しくしても解消するのは無理です。市は医療行政から手を引き民間に委任してはどうか。人口減少時代に負担だけ子供に残していいのか。学校も合併して校舎を減らす努力を。

●スポーツ施設や文化ホールは若い人が住むのには必要。魅力ある施設に。

●地区センター、分館等の運営は地区振興会にすべて任せる。県立・市立の病院の統合が成功している地域があるとか。

●高齢による体力・運動機能低下を防ぐため、スポーツ、地区センター、集会所などの交流施設は減らさない。

3 この取組み全般に対する姿勢やビジョンの提案・意見

- 統廃合に対する地元住民の抵抗は大きいでしょうが、現在の費用と今後の運営のビジョンを明示して英断を下すことが行政の役割だと思います。リーダーシップを発揮してください。
- 普通、赤字ではやっていけないのに赤字でもやれるのは公共施設だけ。そこを考えてほしい。
- 全国にはこういった問題を解決している様子をテレビで紹介している。参考にしてください。
- 役所の逃げを感じます。積極的な取組みで、型が変わると思います。
- あと10年。ひとつひとつ既存施設を関係者の意見を聞き検証し方向性を出してください。納得できる方針は応援します。
- 数ではなく質を高めることを望みます。
- 他都市の事例を研究するべき。特に合併都市の事例のうち縮小方法、進め方、住民の同意を得るポイントや重要なポイントを研究する必要がある。若い世代の意見重視。
- 合併前の施設については様々な角度から見直しを進めるべき。スピード感をもってやるべき。
- 大事な施設を縮小しなければならないとは、市の予算はどうなっているのでしょうか。本来なら市民のために八戸公園のような施設を作ってほしい。
- 各地域の実情を把握した上での施策が望ましい。単に財政上の視点からの処理という姿勢が強く奥州市の最大の欠点がここにある。
- ニュースになっている病院の統廃合という流れと全く同じであり、「地域の理解」をしたうえでの歩みを行政の主たるものとしてほしい。
- 勤労人口で賄える財政規模にする必要がある。したがって残念ながら大胆な縮小を実施する必要がある。これは市全体で将来計画を立案することになる。
- 誰のための施設か、誰がどれくらい利用するか・させるかを考え、子どもの教育、住民の健康と地域の活動を第一に考えて生かすことが重要。
- 公共施設は国民生活の重要なインフラであることを忘れてはならない。公共施設の運営経費の黒字化

を目標にしてもいけない。

●統廃合や民間売却は、40年後とは言わず至急、せめて他市比較して全国平均まで減らし、住民負担を減らす。

●超高齢化、少子化の近代でもぜひ続けてほしいと思います。

●人口比に見合った施設は必要と思う。削減ありきではなく、人口減の中でも最小限のものに留めてほしい。

●人口減少に伴い施設の数を減らすのは当然のことかと思います。過剰なサービスを求めず、自力で可能なことをして。長寿や延命がすべてではないと考えています。

●公共施設は市民のために、それを維持していくのが行政なのでは。それを考えるのが経営者たる行政マンでは。

●住民と相談の上、今後の方向について段階をあきらかにした進め方を希望します。目指す型ありきで進まないように、一方的な話にはならないように。

●事務全般の見直し縮小。何から何まで公共管理は無理。

●この問題の発端は財政上の問題と思いますが、市民に現状をはっきり示したうえで、現状では成り行きませんと話すこと。それぞれの施設の実績を行政として検討し将来展望を含めた分析結果を公表することが意見を求めることの前段にあるべきだと思います。

●地方にも魅力ある施設の設置が必要です。

●一家族の命を守る行政。政策に携わっている人間が自分の40年後をどうあるべきかを考えてみること。

●地域と繋がりのある施設は残していくべきだと思います。

●公共施設はあれば便利ですが、維持管理の採算が取れない施設は利用料を値上げするなどしてこれ以上市の負債を大きくしないように、我慢するしかありません。痛みのない改革はあり得ません。偏った一極集中だけはだめ。

●若い世代の意見に従いたい。

●縮小、統廃合、委託もよいが市の魅力がなくなるようでは市民や観光客は離れていく。

- 大きい建物を作りすぎた。これからは、その施設を有効活用することに知恵を絞ってほしい。
- 人口減少は管理や人材の確保が大変になってくると思います。将来に向けて思い切った対策が必要だと思います。
- 気軽に立ち寄れる施設が望ましい。予約せずに思い立ったら行ける図書館のような。
- どれだけの施設があり、年間の利用者や維持費を示してほしい。そもそも市民に伝わっていない。一人当たりの維持費がどれだけかを示すべき（地区センター1箇所のデータでも）。縮小だけでなく、今後の市の発展に寄与するものを考えてほしい。
- 本当に素晴らしく、住みやすい奥州市にチャレンジするために、市民一人一人が本気になり、40年間の今後を考えることが必要だと思います。
- 皆が使いたいと思うようなサービスの提供、施設の整備をしてほしいです。
- いまの公共施設を保有していないと「市」として認められないのでしょうか？時代に即した魅力的なものにしましょう。定職に就いていない人達は何人もいます。公共施設でのボランティアを通して社会の橋渡しにならないでしょうか。
- 将来を担う子供たちのために施設を大切に維持してほしい。
- 個人で見る、買う、休むだけのものじゃないと縮小は難しいと思う。(団体育成のないもの)
- 役所主導ではなく、地区民との対話を取り入れるとか、市民アンケート、代議員を募るとか、振興会に相談するとか。
- 市全体として考え、旧各区にある施設を統合していくべきである。必要性を検討していくことが大切であるが、地域住民の説明をしっかりとしながら進めてほしい。
- 誰かのために施設だからこそ、市民の意見も必要ですが他県も同じことで悩んで成功している例もあると思うので参考にして判断してほしい。徹底的に聞いて、分析して今の状況も分析を徹底すればヒントがあるのでは。
- 人口減少が続くのであれば公共施設もそれに対応するのが当然である。ただし、公共施設利用が市民にとってコミュニティ対応が重要であるから効率的な対応が必要である。
- 必要と思われ運営してきたものを廃止するときは慎重の上にも慎重に願います。財源からの視点では

なく心情をおもんばかってほしい。

●市にお金がないのだから万人が必要なものにみにするべき。

●90歳で、今でも元気で居ります。現代は余りにも完成された”物”の与えすぎになっているように思えます。恵まれすぎているように思えます。一考を願います。

●文化的水準を保てる取組みをお願いしたい。

●公共施設を減らす目的のアンケートにがっかりする。もっと使いやすくする方向でもう一度検討してほしい。なぜ維持することが不可能なのか？ わたしが利用していない施設でも必要としている人がいるかもしれません。

●統廃合を進めるうえで大切なことは、将来のまちづくり = コンパクトシティ化にて行政サービスの線引きを行う必要があることを行政・市民とも認識しなくてはならないことである。公共施設の配置計画をまちづくりと共に考えていくことが必要である。まちづくりは都市計画課ではなく政策担当課で行うべきだということを首長が意識するべきである。職員の意識改革も必要。

●30～40年後の人口9万人割れを想定し、統廃合を確実に進めてほしい。あり方について、若い年代層の皆さんの意見を重視していただきたい。(年配者の意見よりも)

●厚生年金施設の一件で解っているようにハコモノ行政はやめるべき。人件費も無駄。一般社会では考えられない。公務員としての仕事をするべき。今回のアンケートも遅い。もっと早くやるべき。社会福祉、災害対策等やるべきことがあるでしょう。時代に合った行政を期待する。

●データのみでは測れない。地域の実情をも勘案されたい。

●限られた予算の中での維持は困難と思われるが、高齢者の生きがい対策、将来の子のためには絶対必要である。使い方に工夫するべきである。予算配分の見直しも必要であろう。

●普段の生活に関係するものは地区によって偏りがなるべくないようにしてほしい。文化ホールなど大型施設は集約してよいと思う。

●地区、集会所など田舎じみている。東京には数少ない、個々それぞれの人生、地区だけのものに引っ張り出され仕事にも影響する。令和の時代、いつまでも古いものにすがらず、新しく、切り捨てるものはなくし、住みやすい水沢を希望。

●アンケートや利用者数等、数によって施設の存続を決める考え方を持っているのであればそれは間違

いです。市街地の施設が有利になるからです。各地域に平等に必要な施設は多くあります。規模を小さくしてでも残す工夫をしてください。

●市長が強いリーダーシップをとって進めない限り、この問題は前進しない。子、孫の代に負担を残さない。

●合併以前の市町村の独自性がなくなり、住民の意気消沈への影響が大であり、こうした観点からの見直しが必要である。

●経済効果のみ追求するやり方に反対。

●公共機関の方々が民間から学ぶことを多くしてほしい。

●今後の人口動向、老若を考え、適正な数・規模を考えたほうが良いと思います。

●断捨離ではありませんが、見直すことが当面の課題ですね。統廃合など先を見通して考えていかなければならないと思います。

●多少の不便を感じても仕方ないと思うが、災害時の対応は必要なので何でもかんでも無くすわけにはいかず、ギリギリの判断が必要と思う。

●実行することが大切。計画づくりで終わらないこと。一つひとつ実行していくことが大切でしょう。

●他市との比較資料に、人口規模だけで、人口密度での類似比較がない。過疎地に住む住人は切り捨てとなるのか？ 40年後の人口は確実に減少することを前提としている。市の人口減少対策はこの計画に反映されていないのか？ 施設やサービスの縮小・削減で魅力のない、住みたくない市にならないように。

●行政サービスの“きめ細かさ”ということが地域的に充実した各種施設によるものと考えたと、当然現状にそぐわない（そぐわなくなった）と思いますが、逆になくなれば、また一方では悲しく思うもの。縮小、間引き的に減少させることは仕方ないかもしれませんが、生活圈、人口密集の“最小単位”を考え、そのエリアスペースの有為性を示して説明するなどの地域づくりの方向性を取り上げるべきだと思います。

●各地区にある重複施設の利用率、稼働率を調査し、継続運営にするのか、廃止するのか判断が必要だと思います。安易に「じゃ、民間へ」とは判断しないでください。奥州市は田舎です。民間で手をあげる人はなかなか厳しいのではないのでしょうか。

●奥州市の活性化を図る努力が感じられない。もっと他市町村に学び、住民が満足し、他地域からも羨ましがられるような市になってほしい。若者が集える場所がない。

●高齢者だけのための公共施設政策になっていないか。再考するとともに若者、子育て世代、子どもがのびのびと過ごせる施設を目指してほしい。

●施設を新しく作らないことだと思います。今ある施設を有効に使いながら修繕・補修していきましょう。

●40年間？ どこから出るのが疑問。そのようなことから、このアンケートも無駄。無意味。もっと真剣に、今、自分かやっている業務がどうあるべきか考えること。

●旧市町村の枠を捨て、利用頻度や必要性などを客観的に評価し、一定評価以下の施設の廃止を進めないと、命と生活を守る行政サービスの継続が難しくなることを伝えて「整理」を進めるべき。未来のための英断を期待します。

●自治体の合併に伴い、本件のような問題が起きているのではないのでしょうか。国に対して強力で働きかけて解決策を見出せる自治体になってほしいと思います。

●一概には言えない。各地区の人口、文化の状況をチェックして工夫を。

●公共施設が維持できないからと言って、廃止や統廃合していたのでは過疎地は増々加速化、高齢化してしまいます。それを住んでみたい地域、住ませたい地域と都市部との格差をなくすよう行政や政治が努力すべきではないのでしょうか。成り行き任せでは。あなた達にその資格がありません。

●私は今年40歳になりました。ずっと奥州市（旧水沢市）に住んでいます。そんな長い年月でも一度も行っていない施設も多数あります。維持費もこんなにかかるのだと改めて考えさせられました…。そのお金があったら何ができるのだろうかと考えました。必要性をちゃんと考えて残していくことが大事なのだと思います。将来の子供たちのためにも…。

●合併前は各地区での文化の殿堂として必要だったが現在を起点にして考えると、今後40年後は人口動態と共に人口は3割減少して施設に対する負担が4割以上増加する。将来を見て大幅な見直しをする必要がある。2020年をスタートにして検討を。

●施設設置は地域住民の要望に応えることで、その役割を果たしてきている。人口減、組織の高齢化などにより、施設の存続が難しいとなれば、やめるべきでしょう。無理やりにこれまでの役割に固執する必要はないのではないかと思います。住民の強い要望に応じていくことはとても重要です。住民の公共施設への重要度が結論ではないのでしょうか。

●老朽化する施設の存続・維持は、大変な費用を伴うものと思われます。すべての施設の重要性を十分に検討・議論することが大事だと思います。予算がないとか財政難とかいう問題を第一にすると、何もしな

いほうが良いし、削減することが目標となることは良い結果にならないと思います。住民の必要最小限の声を上手に拾っていくことも大切だと思います。

●若い世代や子どもたちがワクワクして将来を夢見ることのできるような生活や安心して毎日をおくることができるようにすることが行政の仕事だと思います。そのための公共施設なのでから必要なものはきちっと維持するべきです。収入（税金等）が不足しているのでしょうか、支出が余りに多いのでしょうか。ハコモノ中心の考えを改める時代になっていると考えます。

●集中と選択という、いま日本中で行われていることを各自治体でもやらざるを得なくなったように見えます（聞こえます）。広域行政では小さい集落などの不都合には目をつぶるしかないということでしょうか。そこでも生活している人達がいるのですから、多数決で決められることではないと思います。そこでも若い世代や子どもたちがワクワクして将来を夢見ることができるような生活や安心な生活で満たされるように考えてほしいと思います。私たちは40年後にはこの世界にはいないのですから。

●最近の報道で、人口減少が合併した自治体で多く、合併しない自治体では少ないと発表されていた。合併した自治体では、中央部にのみ施設が集中し、周辺は何もなくなり衰退するばかりである。公共施設が財源難で整理するとすれば中央部に残るのみで、周辺住民は施設を利用するためには車で30分以上かかるであろうし、交通手段のない住民は利用不可能となる。何のための合併だったのか。自治体衰退のためとしか言いようがない。地域住民の協力を得て身近な施設の存在を図るべきと考える。

●施設の利用状況がわからないので回答できない設問があるが、市として全体を把握していないとすれば、各施設から報告を受けていたほうが良い。あまり活用していない施設があれば関係機関、団体等に活用を促しても良いのではないか。

●昭和50年代各地に施設ができ、十分に恩恵を受けてきました。今後40年間を考えると、昭和40年代の不便な時代には戻れないとは思いますが、人口構成が高齢化する中、移動手段の確保、災害への備えなど、時代に合った検討が必要だと思います。広報の詳しいデータを見た感想は、1人当たりとありましたが、総面積、居住可能面積などが広い奥州市は、利用の便利さの面をよく検討する必要があると思います。

●市民一人一人が公共施設を利用しやすいよう努力していく必要があると思います。できることをみんなですべてやってみよう。

●今ある規模を継続して維持しなければならない公共施設の分野はないと思います。真に公が運営すべき施設の分別を、地域のエゴを失くして判断しなければならないでしょう。選挙のための4年間のスパンで政策を決めていては何も改革は進みません。投票率の高い高齢者、票を持っている一部の地域の有力者に左右されていてはどうにもならないです。

- 利用しやすい雰囲気を作ってほしい。

- 施設を維持し続けることは大変なことだと思いますが、利用者がいる間は頑張ってほしい。子供たちのために残してください。

- テレビで紹介された人口増の市町村での要因は子育て世代にやさしい街づくりでした。公共施設についても共通しているような気がします。子育て世代が利用する施設は、修繕してでもきちんと維持するべきと考えます。むやみに増やす必要はありませんが、縮小したとしても機能が充実するよう対策してほしい。

- 福祉だけに目を向けるのではなく、子どもたちが楽しく遊べる公園（遊具の充実）、若い世代が楽しめる街も作って行かないと、いずれ若い世代が奥州市から出ていく。

- 新設・更新の場合、必要最小限の規模とする。いままでの施設は大きすぎる。

- 文化面向上のための施策は人口減少とかかわりなく必要。

4 この取組み全般へのビジョンの提案に具体例を付した意見

- 行政、民間、不動産屋、事業運営者の連携による現実的な将来像を。
- 40年後は計り知れないが、現在使用されている居所在はそのまま、修理・手を入れ、地域の皆さんが愛用することを望みます。
- Zアリーナは遠すぎて車でないと行くことができない。考えるべき。市の眠っている財産を生かすことが必要でしょう。
- 人間の命に関わる施設はやむを得ないが、他は民間が運営、市はそれを管理する部門を市役所に設ける（この場合の人選は大切）。人件費がかかり過ぎているし、責任が無さ過ぎ。
- 施設ごとの延床面積の比較も大事ですが、市内の人口と施設利用比率はどうなっているのか、他市町村の傾向も知りたい。特に産業振興施設等、必要に応じて民間とタイアップというのも考えていいのではないか。
- 老朽施設の統廃合や余った施設を転用する方法を話し合って適当な数の施設を運営する。行政が管理運営することが望ましいが、民間に委託するのもよい。
- 施設廃止を含めて検討していかなければならない。納税者が減る中で実行に移さなければならない。要望でどうしてもというものには使用料の大幅な増額で対応しなければならない。
- スクラップの判断は難しいと思いますが、早め早めに決定してほしいです。公民館事業は思い切ってなくしてもいいと思います。地域の文化祭などのイベントも。殺人的な気象の中の夏場の地区運動会はやらなければならないのでしょうか？ 子供たちのために思い切った舵取りをお願いします。
- 地域に合った公共施設。民間が手を出すとは限らないので利用頻度で運営方法を検討。使用料アップか廃止か。
- スポーツ施設、文化ホール、保健・福祉施設は今でも指定管理。それでよいのではないか。
- 地域住民の利便性をもっと考慮するべき。遠隔地、地理的面でZアリーナのような場所では地元利用者は敬遠する。
- 利用率を向上させるためには、利用時間に比較的余裕のある高齢者に配慮が必要と考える。例えば後藤伯記念館に駐車場がないとか乗り入れ不可は論外。

- 民間でできるような基本方向を定めること。(一般企業向け)
- 文化祭とか体育祭とか、そのための訓練、集会などで必要なのではないか。
- 管理が行き届いていない&古い設備の施設が多すぎる。利用したい気にもならないし、維持費を継続的に発生させるのも無意味。施設の取捨選択を思い切ってしてほしい。そして残した施設への設備投資にその分を上乗せし、使用料が上がっても使いたいと思える施設を。
- 再利用できる施設はそのまま使用する。
- 施設で市民にサービスを提供するには、建設費用以外にも運営していくために人件費、光熱水費、修繕費など運営していくための費用がかかる。利用者から徴収する使用料だけでは到底管理運営コストは賄えない。にもかかわらず奥州市は大盤振る舞いの減免制度を布いている。今、せめて取り掛かるべきは減免制度の見直しであろう。そして、「あれば便利」の一部の公共施設利用者の意見を尊重するあまり、その有効性や利用頻度、利用人口割合などを考えていないように思われる施設が多く感じる。一部の市民の利便性を奪うわけではないが、一部の市民しか使わない施設の運営コストを賄うために施設を使わない市民からも税金を負担させるのは不公平である。市は、ソフトランディング、事なかれ主義が得意のように思うが、この際、思い切った改革が必要ではないか。
- 使用料を安くして皆さんにどんどん活用していただければ、文化の発展にも繋がる。現状だと中途半端ではないか。せっかく文化会館も体育館も存在するのに活用度が低いですよね。税金で建てているものですから、安心して皆さんに開放するべきです。
- 地区センター等運営事業数を減らすことで人員削減を図ることも必要。公共施設だけの問題にとどまらず、全体を見て考えることを望む。予算の実績配分の見直しが必要不可欠。
- 健康寿命対策を考えたいうえで、各施設の利用状況を分析し、総量の減や民間委託等を積極的に検討する
- 奥州市合併した折に発展計画を立てたでしょうから、単に公共施設だけを取り上げて市民からのアンケートに依存する考え方は間違っているのでは。種々の都合で故郷を離れている人達がどのように思うだろうか。管理・運営等だけならNPO等の応援・協力の方法もあるだろう。
- 40年後の各年代層を想定しながら施設の運営方法を考えるべきと思う。公園・広場は無駄なように見えるが生活するうえで最も必要な空間であり、むしろ整備をして緊急時の集合場所または日常の健康管理の場所として見捨ててはいけなところだと思います。
- 人口減少、しかも少子高齢化…。広域で共用できる施設を残し、旧市町村で建てた小さな規模のものは

廃止していったほうが良いと思います。利用人数の少ない古い建物の維持に税金をかけるのはムダだと思います。

●なんといっても健康にかかわる施設、災害対応などで必要となる施設等緊急性が最も優先度が高いと思われ、これらは自治体管理として人任せでは具合が悪いと思われる。他にも考え方の物差しはあろうが、優先度で仕分けして判断し、委託管理できるものは委託し、整理するのがよいのではないか。

●公共施設をある程度集約して、できれば公共交通が利用できれば良い。今後は不要なハコモノ（庁舎なども含む）を作らないことが必要と思う。

●奥州市はとても広いです。水沢にだけ施設を集めようとするのは無理があります。各地域に合った施設は絶対に維持するべきです。水沢で使っている無駄な道路工事や人のいない記念館などの維持をやめればかなりの税金を残せるのではないのでしょうか。

●合併により施設数が多くなるのは当たり前です。早い段階から補修計画を立てるべきだったのではないのでしょうか。古くなってからでどうしましょう？ という行動に思えます。地域にとっては長年利用し、愛着のある施設ですから残してほしいのは本音だと思います。

●合併して15年。まだまだ旧市町村にこだわっているような気がします。どこの地域にも一つずつ施設が欲しいと思うと、維持費だけが嵩みます。奥州市として考えることが必要。例えば、水病とかは建て替え前に、胆沢病院や江刺病院の充実を考えたほうが良いと思う。市の負債を増やさないでほしい。どこの地区にも施設を同じように作るのではなく、その施設を利用できるように交通網とか足を確保する方向もあるのでは。

●マイナス面ばかり問わずにプラス面を考える。①産婦人科増、安心して子供が生まれる町に ②中心街の活性化を ③工業団地に大畑企業を

●合併前に所有していた施設をそのまま保有し続けず、その地区に絶対必要とされる施設を残し、その他は、より機能性の高い施設を市全体で利用する。利用しやすいよう交通システムを工夫する。旧自治体に固執する意識の改革が必要！

●一律に縮小の考えに立つのではなく、その地域の発展に寄与できるよう総合資産と捉え、何が必要かを把握することが重要と考える。単純にアンケートの結果を反映して決定するのではなく、将来の地域発展を見据えた見直しにしてほしい。時代の感覚を持つことが大切である。特に観光施設等は、今までどおりではなく、外国人も泊まれる格安、自炊のできるゲストハウス運営も取り入れ、地域の活性化にも視野を入れて考えるべきである。

●使用料を値上げして利用者が減少、または減少しなくとも価格に見合う効果を得られなくなるのでは

施設の意義をなさないと考える。集約化できるものは集約し、コストパフォーマンスを考えた運営をしてほしい。民間企業が管理・運営する場合でも、公共施設であることを踏まえた使用料としていただきたい。

●市町村合併したことにより同じような施設を1市で維持運営しているため単に無駄があるように思えるが、ただ統廃合してはだめ。それぞれなくてはならない施設である。しかし、利用対象を差別化するか、それぞれ施設の特徴を出して運営させること。例えば江刺のササラホールは郷土芸能伝承館として対象を絞る。水沢はもっと観光（三偉人）に力を入れるべき 一半端です。

●とにかく総量を減らすことが必要です。水沢、江刺、前沢、胆沢、衣川で必ず一つは欲しいものと、どこか一つにまとめられるものと仲間分けして活用しないといけないと思います。一つに絞った場合、交通の便を考えて、遠くの人には送迎バスが必要になるかもしれません。残したい施設やこれから作るうとする施設は、単独のものではなく複合施設にしてもらい、そこに行くといろいろな用事が片付くというようにしてもらいたいです。

●住民は税金を市県民税として納付している。市の施設以外の施設、例えば県の施設や近隣の市町村と連携して、人口減少や高齢化対策に応じて、広域的な区域での施設を利用できる時代を期待する。メリットは必要以上に施設の建設をしなくて良いのではないかな。

●行政管理公共事業・施設の見直し選別を徹底し、民営化を短期集中して実行していくこと。行政・民間の役割分担を長期視点で未来像を示し行政・組織のスリム化と民間指導を進めていくこと。

●地区センターなど、地域の拠点を確認して、今の公共施設を絞っていく。削る施設はできるだけ1箇所に集合させた拠点にし、各地区センターとの連絡を密にする。と共に、1箇所に集合させた施設への足を確保する。または、今の施設の利用状況（稼働率）から、削る施設を決める。ただし、削った後、利用者が他の場所に行ける足の確保が重要。

●建てたらそこで終わるのではなく、メンテナンス、改築などのプランも考慮しながら、公共施設を運営、管理していくべきだと思います。

●税金の負担が増すことは望ましくない。施設の現状や利用頻度等を検討し、市民が納得できる形で進めてほしい。

●高齢化に伴う施設の整備も必要ではないでしょうか？ 転用も必要です。お金がなければすべて民間に売却、委託等もよいと思います。人件費も大幅に節約できます。

●施設のすべてを維持するために使用料の値上げや提供するサービスがなくなってしまうのは利用者減につながってかえって減収になると思う。なので、利用頻度の少ない施設、設置目的に達しない施設、赤

字設備などは廃止・売却なりして、その分を既存の施設のサービス向上・維持に充てたほうが良いのでは。

●奥州市は広く、自身が高齢になったとき車を運転できるか分かりません。そういったとき、健康維持のためのスポーツ施設や図書館など家の近くに残してほしいです。生活に潤いを与えてくれます。

●市民の文化的生活、健康的な生活の維持のためを前提にすることを希望します。施設を集約しつつ、アクセスを保証することも。市役所庁舎（支所も）が過剰。不要スペースを民間へ賃貸すること。まず胆沢総合支所の池を埋め立てること。県庁前の池もなくなっていますよ。小さなことですが…。

●子育て世代のための施設を一層充実させずして、今後の市勢の発展はあるのか？ やたら整備する道路は、それらへの過剰投資のシワ寄せが文化施設へ。観光・保養施設は運営方法に工夫を。もっと稼げるのでは。博物館・記念館は、地域の文化、歴史資料の収集、保管・活用の機能を果たしていますか？

●近所にあるのが理想ですが、古くなった公共施設は取壊し、収益が難しいと思われる博物館、記念館などは開館する日を少なくしたらいいのでは。公園もいろんなところがあれば子育てママにはありがたいと思うが、それよりはカルチャーパークのようないろんな人が集える大きな楽しい公園があれば、賑わい、満足度も得られると思う。施設を縮小し、満足度の高いサービスを求める。今はどこも中途半端のような気がする。

●単純に施設の総量を減らすのではなく、利用頻度を考慮して見直す必要がある。更新・修繕や健全な運営（衛生面も含め）のために、使用料の値上げが必要ならそれもやむを得ない。スポーツ施設等、一時的かもしれないが近隣市町村で不足するときがあるが、積極的に売り込みをして、使用率を上げることも考えてほしい。

●利用者負担を増し、使用に耐える施設に資する。医療・教育・福祉以外はすべて民間とする。市の全施設を一括管理する組織とする。

●身近にある施設が無くなるのは残念であるが理解しなければならない。病院や子どもに関わる施設は極力残すべきである。加えて、人が集まる施設も必要であり、地区センターを残し、さらに市役所庁舎（支所も）利用しやすくできないか。他の同様の施設は廃止しても仕方がない。スポーツや文化も大切であるが、集約することもやむを得ない。いずれ、多くの市民はあまり利用していないと思われるが、その一方で負担は重い。

●過剰な施設というより、集約して現状よりさらに充実した施設が必要と思うものとして博物館・記念館、観光・保養施設、病院、保健・福祉施設をあげる。当然、財政が厳しいのは市民が知っていることなので、民間に可能なものであれば広くどンドン切り換えたほうが良いのではないか？ 今のまま現状では衰退していきだけ!! 例えば水沢公園野球場をリニューアルしてまたは東バイパス沿いに移設して大

谷翔平球場とか。三大偉人を中心にした文化人を集約したような博物館・記念館をつくればどうか。とにかく観光に力を入れないと未来は暗い。同時に道路を充実・整備も並行して！ 穴だらけ、狭い、歩道がなく危険だらけ！

●奥州市は広いので各地域にあるのが望ましいが、統廃合をするのであれば交通の利便性を高めるなど工夫してもらえればと思う。中学生の子供がいるので部活等でスポーツ施設は利用する機会が多いので、減免については継続してほしいと思います。

●人口減少の中、市の財政もよく考え、維持費、人件費の削減策を本気で考えてほしい。特に、博物館・記念館は小規模なところは廃止。予算があれば一か所に集約し、見応えのあるものにしてほしい。

●生きていくために必要最小限の病院、保健・福祉施設だけは削減しないでほしい。地域コミュニティ活動のために、地区センターと集会所は必要だと思います。私が一番利用している公共施設は図書館です。今でも片道5キロほどあります。これ以上遠くなるととても大変です。どうか図書館は残してほしいです。奥州市は合併したので面積が広くて、公共施設が多くて、一人当たりの延床面積が多くなるのは当然です。比較することが間違っていると思います。

●市の広さ規模は大きくなったのに、シンボリックな施設がない。(紫波のオガールだったり、盛岡市であればアイーナ、マリオスなど) 公共的な施設で行ってみたいと思うところが少ない。幼児のトイレなど、北上のバルは素晴らしいですよ。統廃合をもっとしてほしいです。あと、公的病院には産科を!!

●市民の文化的基盤を維持するためや憩いの場としての施設は維持したい。スポーツは民間の施設が数か所ありそれを利用させたい。医療・保健施設は統廃合してまとめ、公園はきちんと手入れされ子どもも利用できるものが少数あればよい。

●市民誰もが使いやすい施設があることが望ましい。幼児・児童施設、福祉施設、病院が一体化なっていて、皆さんのための公共複合施設があると良いのでは。

5 各施策や対策に対する意見

【総合的な政策】

- いち早くコンパクトシティの方向に進むべき。水道管などのインフラは人にいない山村は切り捨てるべき。
- 公共施設重視のあり方を生活重視のあり方に移行すべきと思う。低成長下でも高福祉で生活しやすい、生き生きと暮らしていける公共施設の運営が望ましい。
- 施設を減らし、税金を減らし、個人の幸福を重視しましょう。
- 時代に合った施設が必要。地震や洪水で非難する施設の整備。高齢者の移動手段の整備。これらを行政の主導で行ってほしい。
- 施設以前に市の財政の見直しが必要と思います。企業誘致に積極的に取り組む、職員の削減と意識改革など改革の余地は多々あります。福祉の充実も大切ですが、健常者の生活の維持があってこそ福祉は成り立つのではないのでしょうか。
- 行政経費削減だけを目的とする指定管理制度は誤り。施設の使用料条例や減免規則の見直しをしてこなかった行政の怠慢も原因である。
- これからの社会を担う子供たちが遊び学べる場所は重要です。大人になったとき「楽しかった、幸せだった」とい思い出せる世の中であってほしく、公共施設がその役に立ってくれたらと思います。
- 市民不在の行政を続けた結果が顕著に表れています。年金生活者、生活保護世帯、母子家庭等、低所得者層の発言の機会は無です。公共施設を利用したくても利用する時間もなく、働き続けている市民がいることをご理解ください。低所得者に配慮した政策を強く望みます。
- 農村地域には大都市と違って公共施設が必要なものがある。市民の健康を守り暮らしを豊かにする他の分野の経費を少なくしている側面もあるはず。他の分野の予算を施設の維持に回すことも考えるべき。必要があって作られたものであり、有効活用するよう考えることが必要。
- 自然災害が多くなり避難者も多種多様になります。ペットと一緒に入れる施設、高齢者だけの施設、障害者の施設、外国人の施設とか利用できる場所があればうれしいと思います。
- 本当は好みませんが、一極集中型で行政を進めるしかないと思います。

- 今後、住居地域をまとめ、サービス充実な地域に住居を移るよう誘導していく。
- 水沢に集中的に多く江刺にはほとんどない。若者が江刺から離れていく。江刺に集合できる場所がほしい。
- 実家がある盛岡に月1回程度帰りますが、盛岡のほうが子育て関係の支援施設が多く、提供されるサービスも充実していて、盛岡で子育てができたらどんなに楽しいか、と感じます。子育てがしやすい環境であれば、自然と外出する機会が増え、そのついでに公共施設も利用することが多くなると思います。
- 市の予算の見直しを進めるべき。例えば「いわて奥州きらめきマラソン運営事業」に3000万円の予算を計上し実施したが、今年度以降も大会を実施することが考えられる。僅か一日のために人とカネを使い実施することはやめるべき。カヌーも同様。その他、抜本的に税の使い方を考える。
- 少子高齢化対策が前提。どうして人口が減少しているかももう一度考えることが必要。
- 少子高齢化時代、スポーツ施設の増設（健康体力づくり）、福祉施設の増設（特養）など高齢化に向けて高齢者に優しい都市（まち）づくりを希望します。また、自家用車ではなく公共の乗り物を増やしてほしい。

【交通】

- 行事等（文化ホール）がある場合の施設等への足の問題。
- 施設の統廃合を進めても、そこまで行くための交通の整備が必要。
- 高齢化に対応した足の確保や活動への対応が望ましい。
- 福祉バスの運行を考えてほしい。出かけたいた高齢者は多いと思う。
- 施設利用している人は99%自家用車のある人たち。
- 定期バスの運行をやめ、タクシーみたいに呼び出しにする。ワンボックスカーなどを使用して効率的な運行を考えてほしい。
- 地区民人数の多いところは交通手段が楽に選べるので、逆に点在地区は地理的にも険しく、平坦は少ない。もっと手を差し伸べてほしいです。

●人口減で統廃合は避けられないとしても、地区内に（例えば）投票所がない。自家用車でなければ利用できない等、著しい不平等の起きないように配置や移動手段を考える必要がある。

【市の組織、職員】

●市長も市職員も未来を考えていない。

●職員数の半減を早急に行うこと（特にも事務職）。

●市民生活を豊かにするため可能な限り市の責任でサービスを提供してほしい。財源の捻出のためには職員の人件費を20%引き下げ（1人当たり100万円）民間並みのベースに抑えるべきです。

●市の準職員として土木、大工を採用し、保守・修繕課を設置し、年次計画で一般職員を減少し、技術者を拡大して現在の予算の支出の大幅見直しをするべきである。

●市民の受益者負担、公共料金の値上げは仕方のないことだが、税金の使い方（特に職員賃金について）市民との格差があまりにも開いているので、行政を執行する方も身を削るべきである。

●今まで将来の見通しを十分に考えず、どんどん無駄な施設を作った結果である。資金は市民の血税である認識がない。個人の資金であれば軽率な行動に出ないはず。すべての補助金の吸い上げを行い、自分たちの給料はベースアップ。住民の行政を行っていない。

●市職員の人件費削減に努めてほしい。事務仕事が多すぎ。必要ない書類を作成し、郵送に金をかけない。本当に必要な部署に配置し、暇なところは思い切って切り捨てる。事務の簡素化が大事。能率が悪い人、仕事ができない人を配置換えしたほうが良い。（組合の反対を恐れてはいけない）水害等の災害に備え、河川・道路周辺の草刈、野獣の被害を考え、山林の手入れ等々の政策を希望する。

【使用料や減免制度の見直し】

●市民の利用料を負担するのは当たり前という気持ちを持つべき。これからはインターネットの時代。生活も多様化する時代に積極的に対応するべきです。

●利用料UPは即刻実施するべき。

●地域限定をせずに、市民がもっと使え、料金は値上げしないでほしい。

- 利用頻度の少ない施設を廃止するとともに使用料を値上げして維持できるようにしてください。
- 各施設を多く利用してもらうようイベント等で収入が得られると良いと思いますし、ある程度利用料は仕方ないことです。減免は廃止してもよいのではと考えます。
- 利用されていない体育館や記念館などにお金をかけて無理に維持する必要があるのか。しかし、なくなると困る人たちもいるので利用料を値上げして維持するのが良いと思います。子供向けの公園・施設がとても少ないと感じています。
- 公共施設は使用料を値上げしてでも絶対に必要と思います。
- 付加使用料は減免不要。基本使用料も全額免除はしない。
- 各利用団体から利用料を回収することが維持費を集めやすいと思う。子供がスポーツで利用しているが、未成年の団体からの回収もするべきと思っている。
- 小学生のスポ小、中学生の部活の行き過ぎも、減免制度を見直しお金をもらうことにすれば解決に近づくような…。ひいては先生方の働き方改革にも関係してくるような気がします。言葉は悪いですが、“ただで使い放題”でいいのでしょうか？ 定期利用の団体による施設の占用感も気になります。個人や急ごしらえの集まりは、空いた時に運良く使えれば良いというのは…。定期利用する団体は、減免です。定期の恩恵を受ける団体はむしろ減免はナシで良いのでは？ 活動場所を心配する必要もないのでしょうか。いずれ“とれるところからとる”、“使う人からとる”の原則で40年後も継続してほしいです。結果は公表してください。
- 公共施設とは言え、利用する人、しない人があると思われるので利用者からはそれなりの負担をするべきであると思う。すべて税金で運営することは適正ではないと思われます。
- 今後、人口減少が予想されるのだから、公共施設はいまある規模を維持する必要はないと思う。スポーツ・文化施設は、使用者が適切な使用料金を支払うのは当たり前です。公共施設の使用料の見直しを望みます。

【施設の有効活用】

- 高齢者増が現状の肯定であり、気軽に共同生活できるシステム・シェアハウスの利用の設定が不可欠。また可能な限り自活できる人に対し、交通手段等の充実を。
- 統合した学校や幼稚園などを自由に遊べる施設として開放したり、子供向けイベントで活用してほしい。

い。預かり保育でも良いと思う。

●施設が老朽化した場合に備え、博物館や記念館を再利用したりして有効活用を図る。

●ひとつの建物の中でシェアできるものはシェアする。

●施設の利用方法等をもっと宣伝して利用者を増やす方法を考えてほしい。利用している人は利用しているが、殆どの利用したことのない人もたくさんいると思う。もっと認知度を高くしたら。

●多くの市民が参加するような催しを提案し、広報、回覧等で絶えずPRをする。

●ひとつの地域にある公共施設のほか、学校の体育館や保育所などは、その地域がある程度自由に活用できるようにしてほしい。余分な施設（重複）を減らせると思う。

●幼児、老人も自由に利用できる施設に、用具・設備を充実してほしい。

●地区センターは今後新築ではなく、空き家活用などしてみてもどうか。市営バスを廃止し、高齢者等福祉バス化して、必要な時間（買い物、通院時間）のみ運行する。若い人たちは車がある。がら空きのバスより、福祉目的にしてスリム化を図る。

●各地区に空き家・空き地等が多くなっています。旧東水沢中学校グラウンド等の一等地を財産価値の高いうちに売却する等して将来必ず起きる財政難に備えてほしい。

●高齢者と子供たちが同じ施設や学校で日常的に交流できる公共の場があると良い。

●水沢公園をもっと自由な広場に。つまり駐車場と遊べる広場を。平日は誰もいない。子供と親が楽しく活動するなど見たことなし。広い無料の駐車場は必要と思う。街中の方々なら近いので今のままが良いのじゃないかな。一人で好きなように行けちゃうね。道路⇒東西線が最低でも2本新設すべき。羽田町から南都田まで朝！ 数10分もかかります。一関まで行ける時間ですよ。胆沢病院までも25~30分のときも度々です。長年、街なかばかりをいじり続けた名残がこれです。無駄銭たれ流し。近隣の市町を見れば、すでに市街地を充実し、大きな広がりがあるのに。

●①旧水沢図書館の跡地は斎藤實記念館と隣接している。そこに後藤新平、高野長英の両記念館を移し、3偉人記念館を一体とすることにより観光客の利便を図ると共に維持管理の軽減を図る。②椎名悦三郎氏旧宅の跡地に火防祭のはやし屋台（1台ほど）。消防会館にある消防車等、また現在分散保管している諸民具等これ等を集約する建物を作り郷土資料会館（？）として観光資源とする。そして案内説明者は民間人を使用することにより人件費の節減を図れると思う。

【施設の統廃合や複合化】

- 従来の常識や社会通念にとらわれずに、官民複合経営の施設の検討や、中山間部でも特定の分野に特化した施設を作って「〇〇の聖地」といったものを作って行けば「奥州市ならでは」施設が持続可能なものになっていく。
- ひとりひとりの要求が多様化し、求めるものが違う。複合施設を作り市民一人一人への提供ができれば幸いです。
- 高齢者の割合が高くなる。交通アクセスを整え、施設の集中化を図る。
- 合併して10年以上がたち、積極的に施設の統廃合を進めるべき。全体の3分の1は減らせる。
- 同じような施設が多すぎる。まとめて数か所にするか規模を小さくする。同じところにだけでなく各地に置いてほしい。残った施設は会社、工場などに貸したり売却したりする。
- 週末に図書館や文化ホールなどを利用しますが、車で移動できるため統合されても仕方ありません。廃止されて困る人の声に応じて統廃合の対応をしてください。
- 可能な限り削除するべき。民間で可能なものは民間化。人口減少に合わせて規模を縮小して経費を抑えるなどの対策を。
- 旧市町村ごとに同種の施設があり、すべてを維持するのは不可能。廃止・統合を進めるべき。
- 図書館、文化ホール、博物館・記念館は市内に一つあればよい。
- 公共施設を複合化して、地区センター・集会所、診療所、図書館を一緒にするとか。
- 病院、保健・福祉施設、幼児・児童施設を一緒の場所にする。
- 江刺のスポーツ施設は他地区に比べて過剰。過疎地の地区センターは小規模で十分。記念館や文化ホールは集約するべき。市立の幼稚園・保育園は民間へ。
- 奥州市は地域が広いので施設の統廃合となれば外へ足を運ばなくなるでしょう。それよりも「受益者負担」の原則を強く出してはどうか。高齢社会になれば「集う場所」があることで安心感が生まれると思います。喫茶店もない時代、公共的な場所は非常にありがたいもの。
- 室内で小さな子供を遊ばせるところが少ないようだ。ことし移住してきて感じました。雨や雪の日に

連れていける場所があるとよいです。統廃合により使用されなくなった施設や部屋の活用ができれば。

- 統廃合やコラボ的な施設使用などで、これからの時代に向けた取組みに舵を取るべきです。
- 幼児と老人の一体化した施設があって、保養やスポーツでリフレッシュさせてもよい。
- 赤字の施設は即廃止すること！
- 人口規模に合わせて統廃合するべきです。観光施設は民間がノウハウあるので任せるのが良いと思います。
- 統廃合を早めに行わないと建物の利用がないのに公共・民間もどうにもならないと思う。
- 過剰施設が多すぎです。施設の職員が多すぎです。
- 利用者数の増減で各公共施設の存廃を断行。市民の税負担を最小限にし、利用者の使用料を値上げ。
- 勤労者のための単独の施設を廃止し、他のハコモノと一緒に利用する。公園の高台にあるものはできる限りやめて平坦地のみ残して使用する。
- 人口に見合った統廃合を進める。ただし赤字でも必要な医療・福祉・教育は税金で賄う。
- 広域に分散している人口や施設を集約し動線を短縮することで維持費が大幅に削減されると予測する。
- 合併に伴う類似施設はすべてを取壊し一か所に集約してはどうでしょうか。理由は、みな中途半端な施設だからです。思い切って今やらないと夕張市のようなことになってしまいます。
- 水沢三偉人の存在は評価するが、3施設は必要ない。公共に本当に必要なものが何かを考えれば借金してでも維持する。施設の統廃合の場合は、旧市よりも旧町村に重点を置き、周辺に特色をもたせる。
- 人口減少に鑑み、公園・広場、スポーツ施設は縮小・廃止の方向にもっていくべき。
- 何のための市町村合併なのか。すべて維持するなら合併しなくてもよかったのでは。地区にとっては大事かもしれないが、車社会の現代では移動範囲も広いので無駄を省くあらゆる施設の合併も必要である。
- 利用の多い施設が残るべきと思います。

●統廃合されると徒歩では困難になる。車利用となると駐車スペースが足りない。タクシー利用では個人負担がかさむ。

●今まで無駄な施設を建ててきているはずです。合併前でも後でも特に目立ちます。必要のないものは解体するなり売却してください。新しい建物を新築する場合は慎重に議論してください。

●子どもが少なくなっているときに、なぜ公立施設を統合して新築するのか。学校も割に新しい校舎もすでに使っていない状況。幼児施設も公立を廃止し、民間の特色ある園にお願いしてはどうか。他市町村ではそのように移行しているのに、奥州市は公立にこだわっている理由は何だろう。あまりに考え方が古く貧しい。無駄な税金を使わずもっと有意義に。民間に任せるものは補助を出して子育てして支援を受けるべき。

●どの施設も必要だとは思いますが、維持費はかなり増加していくと思います。値上げすればかえって足が遠のくだけかと思えます。不便になるかとは思いますが、統廃合を少しずつ進めていったほうが良いのではと思います。

●施設の統廃合。利用されていない施設はどんどん廃止すること。

●現状維持は不可能だ。規模を縮小し、廃止し、また、集約しなければいけないと思う。

●人口減少に伴う施設の統廃合は必要だ。しかし、小さくても、小規模でもその施設の特色があり運営されている施設はこの限りでないと考える。すべてが統廃合という訳ではないと思う。

●人口減少に伴い、施設の統廃合が望ましい。

●病院も統廃合するべきで、民間に経営を任せるものもひとつ。医師不足解消は民間の医療法人であれば解消できる。スポーツ施設は市民の健康増進の観点から縮小するべきではない。

●民間や公共の施設同士兼用できるものは、可能な限り集約して、施設（空間）や職員の無駄を省く。利用者が少ない施設を廃止する。例えば胆沢に支所、文化ホール、体育館と立派な建物が並んでいるから、日常的な利用者数は多いようには見えない。維持していくための収支をはっきり提示し、必要なのか市民に問うべき。

●施設を廃止した場合は、他の同様の施設が利用できるよう、循環バス等、市で運営し、不便さを解消するよう努めてほしい。

●利用度の少ないものは閉館すべきである。利用が少ないものへの有るべき姿をみんなで話し合う。

- 地区ごとにある施設はできるだけ統廃合する。
- 施設、建物は縮小する。
- 奥州市合併の際からの懸案事項である。山間部や市街地遠方集落にも同等の生活環境を求める観点から地区センター・集会所や病院・保健福祉、幼児・児童関連は安易な廃止や統廃合は避けるべきでは。
- 集会所が点在しているので統廃合はやむを得ないのでは。同じように、使用頻度の少ない公園は廃止しても仕方ないと思う。反対に雨や雪が降ったときに子どもが遊べる室内施設（ボールプールやジャングルジム、滑り台等の遊具がある大型施設）があるといいなと思う。
- どの施設も身近にあり、とてもありがたく思います。ただ、いずれ人口は減っていくので各施設の利用者数も減ると思います。併用するのもひとつの案です。例えば空き室のある総合支所を廃止して文化ホール等の施設に同居するとか。

【民間活力の導入】

- 民間が管理・運営するメリットは何でしょう？
- 土地の一部を民間事業者に定期借地として賃貸、地代を前払い、公共施設の整備費にあたる。
- 民間への移行は必要なし。公共機関で良い。
- マラソン、図書館、温泉は民間でやるべき。
- スポーツ施設や観光・保養施設などは積極的に民間委託するべし。
- 可能な限り民間管理とする。文化ホールは統廃合を進める必要あり。
- 民間に任せよ。
- 公共的団体の活性化を目指し、そこに委託、譲渡する。
- 地区センターを核としてスポーツ、図書館、福祉、病院等を近くにして民間運営とする。
- 市が管理していれば、ある程度の方針や活用の促進にむけた意図があるところだが、民間が運営すると利益を優先する方針になるのではないか。どこが運営するにしても、高齢になると必然的に車が運転

できなくなるので、利用する人の足の確保があったら気軽に行けるのではと思います。

●民間が管理や運営を行うことにより、経費の節減や独自の活動が生まれるかもしれない。設備や修繕にはお金が必要。利用料をとってもいいのではないかと思います。

●可能な限り民間委託または払い下げ、廃止するべきと思う。

●民間活用は早期に検討するべきであるし、やはりすべての維持が困難であることから、利用度の少ない施設は廃止していくべきである。

●どの施設も地域にとっては無くしたくないもの。ただ廃止するのは難しい。できるだけ今ある施設の規模を維持するためには民間に売却した上で存続を図るべき。

●料金をいただいて運営する施設（例えば観光や病院等）は基本的に行政から民間に移譲して構わないでしょう。

●使用の回数の少ないものは民間に任せる。将来的には廃止の必要なものもあると思う。

●江刺の大型施設の維持（藤原の郷、社会福祉施設等）管理。合併前の各市町でいろいろな建造物が数多い市町があります。これらの建造物は20年30年と年月が過ぎると維持費が必要になります。合併前の市町の民間に運営管理をお願いすることが良い。

●民間が管理運営するにあたっては、「本来の趣旨（目的）・設置の狙い」が十分に達せられるよう配慮しなければならない。

●必要以上に大きい元市役所等は民間に賃貸すればよい。新水沢病院の必要性は問わないのか？ 魅力あるまちを目指し、人口減らさずに大いに施設を利用してもらうよう努力する。

●人件費削減するために民間活用する。住民の集まる場所に利用する。NPOが管理運営する。

【サービスの提供】

●施設ごとにサービスが違わないように。

●すべてを縮小し、職員を減らし、効率よくお金を使う。

●健康、趣味講座を定期的を開催してほしい。

●四季を意識したスポーツ強弱を考える。地区の中心に施設を建て公共交通での行き来を可能に。日時
で利用度を考え、プログラムを組む。

●医療費を少なくするため、公共性のある体操教室のような運営をしてみてもは。そのためにはドームの
ような広場を何か所か設ける。スポーツ推進員にラジオ体操を広めさせるロコモティブシンドローム予
防に力を注ぐ。

【施設の維持管理】

●危険な状態の施設は修理してほしい。100年時代に沿った配慮をお願いしたい。

●使用者は施設の清掃を積極的に行う。

●しっかりしたメンテナンスを計画的に、急速に推進しないと大変な環境で人が住みたくない地域が現
実化する。

●中山間地域を考えると一口に難しい。①福祉バスの計画的利用 ②高齢者体育指導員の増員等をして
集約的・集中利用 ③自治管理によるスポーツ広場施設の運営 例：大曲水辺グラウンド

●プールの屋根、図書館周りの草刈がだめだ。

●16年くらい前に植えられた公園の樹木が大木となり、側を通っている電線の高さをはるかに超え、近
くに民家も5、6軒建っている。千葉の台風のように大変なことになっていると思っている。何年前から区長
を通じて要請しているが、その都度予算がないとの繰り返しで埒が明かない。予算もなく何もしないの
であれば職員1人くらい減らせば十分にはできるのではないか。

●一部優良企業から寄付を募って、維持費を賄うのはお互いにとって皆にとって良いことだと思います。
そして広報などで〇〇様よりの寄付で△△の修繕を行うことができました、といった公表をしたら良い
と思います。

●春の日高祭りのときに記念館をまわったが、せっかくの庭が荒れていてがっかりした。ボランティア
を募集して“草取り”などを行ったらどうか。公共施設はあれば嬉しいが維持・管理費は馬鹿にならないと
思う。市がこれから20年、30年先どんなビジョンを見据えているかにより、減らしていくのもやむを得
ないと思う。

●歩道の整備。太日通りをしっかりと歩く人のためにでこぼこを直してください。老人は大変です。

●奥州市江刺に住み早や 50 年。我が家の後ろにあった小学校も遠くに。今は集会所、地区の自治会長又は区長が先頭に立ち頻繁に修理費代、管理代と集金。あまり実現されていない会議は毎回お酒飲み会ばかりみたい。集会所の周りは木が茂み、木の葉があたり一面。秋は我が家の庭・屋根に落ち、北風が強いので飛んできて窓ガラスに当たり大変です。もう少し環境整備に力を入れてほしいです。

●奥州市の施設は過剰にあるところはあまりない。逆にもう少し手をかけてほしいです。

【施設の運営】

●時間制限を緩やかにしてほしい。

●過剰に存在している施設はない。利用するよう指導が必要。

●市が管理すると経費が割高になる。積極的な利用場としての取組みが期待できない。

●公園・広場・集会所などを自治会に任せる場合、一定の管理指針なり管理マニュアルを示して管理が定着するようにする。

●簡単に借りられるようにしてほしい。使用料が高いのと、面倒が多い。

●市の「有力勢力」による「自己顕示欲」のための施設が目につく。市民の「使い勝手」を基礎にした施設になっていない。作った後の「自己検証」が足りないのでは。

●施設の管理責任者が公務員かつ 3 年位で変わっていくのでは先を見ての計画推進の「結果責任」があいまい。その「長」として位置付けて「長年の推移」に責任が伴わないと真剣に取り組む姿勢に疑問がわく。

●施設に職員は必要なく、何か補助が必要な場合は T V 電話などで問い合わせができる。または A I、清掃ロボなどが進んでいる状態が望ましい。施設の職員もいつも暇そうでやりがいも薄いように見受けられるので、ぜひ実現してほしい。

●ハコモノは住民参加（特に利用者）型の管理運営に工夫を。

●職員の数が多い場所もあるので減らして利用者にやってもらう方法もあると思います。例えば図書館の返却や借りる本をスーパーのセルフレジのようにしてみるとか…。本の返却のみの人は大きい返却の袋に入れてもらうと混んでしまうこともなくお互い楽です。

【子育てのための公共施設の活用】

●安心して子供が遊べる、そして親が見守れる、そのような施設があったらと思います。地区センターを利用している者として、年々使いづらくて電気代とか気を使い、時間ギリギリにつけたり消したりと自分たちでも節約したりしています。

●岩手の冬は長期のため、室内で遊べる子供用の施設があると助かると思います。公園も一か所に大きな公園で遊具も種類がいろいろあったら楽しいと思います。

【その他のさまざまな意見】

●自治体の財源では取壊し費用の捻出も困難。国からの交付税措置を強く要望していく。

●年金暮らしが多くなるのが分かっているのに施設にお金をかけるな。

●地域によって不平等。水沢に公園はあるが衣川には公園がない。

●他市との共同利用による施設の設置。

●税金の正しい使い方を政府に訴えて、財源を確保するように運動してほしい。

●自分ファーストの世の中になってしまったので、特定の人しか利用していないのではないか。

●40年間で、複数回利用したのは図書館だけ。スポーツ施設も体力づくりやダイエットに利用できればと思いますがあまりにも遠方ですし、なんの役にも立ちません。

●競馬等はどうするのですか？ 心配です。

●公共施設のトップに行政の天下りが多い。民間企業から向けてもよいのでは。

●市民の負担を最小限に。

●老人等にポイント付きでスポーツ利用してもらったら良いのでは。

●2階以上の建物にはエレベーターがあったら高齢者も外出する機会を増やせる。

●必要とされる施設以外に、一般市民にお伺いを立てて作ったものは、いかほどあるのでしょうか？ 税

金を無駄遣いしたほうが多いのでは？

●まずは身内から痛みを伴う改革 → 給与、報酬、人員整理。住民サービスのみを考えてきたので収支を考慮しなかったのがまずかったと思います。市民に愛される施設として存続させるため、効率よく利用されるための経営を考えたほうが良い。学校の空きスペースを改装し、複合施設として再出発するとか、収支が取れるような経営をし、存続できるように。学校の建替えはやめたほうが良い。

●市の中心部に文化・スポーツ施設は欲しいが、旧市町村単位には維持費がかかりすぎると思う。地区のバランスは必要ない。何故なら合併の意味がないではないか。

●人口の多い奥州市に関わらず、奥州市立病院の医師の少なさ、産婦人科医の少なさ…なんとも恥ずかしい市であります。人口減少がますます加速するでしょう。公共施設のあり方と騒いでいても、そもそもお金の使い方が間違っている。奥州市に未来はないと思います!!

●合併 10 年、江刺住民として良い結果が出ていない。公共施設の民間委託など市としての無責任を感じる。市に江刺に有ったような公認陸上競技場の設置。金ヶ崎・森山以上の場を求む。

●建物だけだろうか？ 無駄に多い行事なども考えてみるべきでは？ なぜ春に 4 つや 5 つ祭りが続く？ 保健福祉・児童施設は人口や世代別統計を十分に分析して協議が必要。病院は減らしてはならない。(個人医院だけではあてにならない→個人医の高齢化)。

●納税の使われ方がおかしいと思う。市民税が高い。

●市町村合併により街中は栄えているが、それをとりまく外周は不便をされていることが多い。(それが人口減にもつながる) 下水道(集落排水)も何十年も先とか計画にも載っていないとか、街の整備に予算を取りすぎていて、周りには予算が回ってこない。

●議員減らして病院総合をお願い。産婦人科。保育園。

●総合施設を必要と思う。市全体で 2 か所くらいに大きい施設が必要である。

●胆沢についてはすべて不安です。まごころ病院も縮小とか？ 個人病院もなく子育て支援もおとなしく、他区に行くことになります。他区のバランスを考えて平等に公共機関を設けてほしいです。胆沢は魅力ありません。さびしいです。

●少子化なのでしょうか？ 草が伸び放題の広場が目につきます。しかしその地区には他の遊び場がないとか、遠い場合にはどうかそのままに。逆に公園広場が近くに連立している地区があるのでは？ それはダメです。つぶ沼のキャンプ場なんとナンセンス不要です。山形の旅人の言(お金が余っている市だ

ねー) ? と言う。景観が台無し極まる工事。場所は他にいくらでもあるのに。ダムを一周する道路を希望します。旅客OKと思います。カヌー◎。